

第1学年社会科 学びのデザイン

日 時 平成27年11月17日(火) 5校時

場 所 1年3組教室

学 級 1年3組(男子17名 女子17名 計34名)

授業者 小原 洋範

1 単元名 第3章 中世の日本

2節 1「モンゴルの襲来」

2 本時の目標 (1/6時間)

(1) モンゴルの襲来が行われた世界史的背景、それに対する鎌倉幕府の対応を理解することができる。 【社会的な知識・理解】

(2) その後の鎌倉幕府への影響や社会の変化を資料から読み取り、表現できる。

【社会的な思考・判断・表現】

3 おもな授業の流れ

(1) モンゴル帝国の誕生と発展、日本への襲来を理解する。

(2) 課題を把握する。

「鎌倉幕府は、モンゴルの襲来にどう立ち向かったのか？」

(3) 鎌倉幕府・御家人がどのように戦い・対応したのか調べる。【小グループ・作業】

(4) モンゴルの襲来が失敗した理由について理解する。

(5) 鎌倉幕府が滅亡した経過について理解する。

(6) 【ジャンプの課題】

鎌倉幕府が滅亡した背景・原因について考え、発表する。

【表現の交流と共有】

(7) 本時学習したことをまとめて発表する。

4 指導にあたって

(1) モンゴルの襲来がどのように実施され、それに対して鎌倉幕府がどのように対応・戦ったのかを、資料の読み取りを中心として、世界史的背景を踏まえながら、理解を深めたい。

(2) 鎌倉幕府滅亡の経過を理解させながら、モンゴル襲来の影響、幕府が抱える課題・問題について考えさせたい。